



射水市立東明小学校 学校だより



東明っ子

第16号

令和3年12月10日

危険に備えて不審者対応避難訓練！

12月1日（水）、不審者対応の避難訓練が行われました。不審者役は川島先生です。怪しい格好で開いた戸口から校内侵入してきました。

不審者発見の連絡を受け、教頭先生はじめ先生方が、丁寧に対応し事なきを得ました。その後、1～4年生は体育館へ集まり、5・6年生は3階廊下で静かに待機しました。全校児童・教職員の安否確認まで3分28秒でした。



不審者誘導

今から20年前に大阪の池田小学校で、刃物を持った不審者が、子供たちを追い回し、尊い8人の子供たちの命が奪われました。不審者は先生方2人に取り押さえられましたが、先生も顔の傷を負いました。本当に悲しい事件であり、二度と起こってはいけません。その教訓を生かし、全国の学校では真剣に避難訓練に取り組んでいます。本校も大切な子供たちの命を守るため、これからも今日のように真剣に取り組んでいきたいと思えます。

楽しかった スマイル集会！！

11月30日（火）、放送集会委員会が企画し、スマイル集会を行いました。コロナウイルス感染症が収まっているとはいえ、予断が許されない状況なので、放送室前から配信された画像を子供たちが各学級で見て、タブレットパソコンのチームスで答えるというリモートによる集会となりました。



教室の様子

プログラム1番「先生の声当てクイズ」でした。全部で4問あり、問題③は「校長先生は何番でしょう？」でした。事前にタブレットパソコンに「私が校長先生です」と声色を変えて録音したものを流しましたが、どうだったでしょうか？

プログラム2番は、ビンゴゲームでした。ビンゴになった学級が画面越しに手を挙げて知らせます。クイズに正解した番号から○を付けていくという画期的な方法でした。子供たちみんなが“スマイル”になった集会でした。



放送集会委員会

明るく楽しい学校生活を目指して・人権週間



1948年12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目標ないし基準を国際的にうたった画期的なものです。

そして、1950年に行われた第5回総会において採択日である12月10日は「人権デー (Human Rights Day)」と定められました。

今年は、12月4日(土)～10日(金)の1週間を第73回「人権週間」と定め、様々なメディアを利用して全国各地で集中的に人権啓発活動を行います。

本校では、12月3日からお昼の校内放送で、ボランティア委員会が人権週間について発表しました。「人権とは人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらにもっている権利であり、相手に対して思いやりの気持ちをもつことが大切です。いじめなどをしないで、仲よく暮らしていきましょう」とても素敵なことです。この機会にご家庭でもお子様と人権について話してみたいかがでしょうか。



人権イメージキャラクター

一文字一文字に心を込めて

12月に入り、書初の練習が始まっています。

1・2年は教室で、硬筆に取り組んでいます。3年以上は毛筆の練習で、ズックを脱ぎ、床に新聞を敷き、墨池や下敷きを配置するなど、準備だけでも大がかりですが、子供たちは悪戦苦闘しながらも頑張っています。学校では図工室を利用し、ゆったりと練習できるようにしています。

各学級の練習の様子を見ると、どの学級の子供たちも真剣に取り組んでいました。特に3年生は初めて大きなだるま筆を使うということもあり、使い勝手のよくわからない道具の一つ一つについて確認しながら書いていました。冬休みには家でもしっかり練習をして、1月11日(火)の校内書初大会に臨んでほしいと思います。



(校長 阿尾昌樹)